

科目名	脱臼実技（上肢）							年度	2026
英語科目名	Dislocation practical skill (The arms)							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	有山敦士、杉本知、後藤晃弘、青木伊之、加藤健太、宮本功三、秋田雄大		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)	

【科目の目的】

柔道整復師が施術で行う脱臼について肘関節、手関節部、手指部の脱臼における症状や合併症などの知識と整復及び固定の技術を習得する。

【科目の概要】

部位別に具体的な外傷の整復・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学びます。

【到達目標】

柔道整復師として臨床現場で遭遇する上肢の脱臼を中心として学ぶ。外力の方向性から発生する脱臼の分類、同外力から他の外傷の合併及び鑑別、性別・年齢等における発生要因などを踏まえ理解する。また、弾発性固定肢位や症状からの脱臼と判断することを理解し、それぞれの脱臼における整復法の理解と整復法実技、また実施時の注意点を学び、臨床現場で実践し、できる技術を獲得し、医療人としての資質を養うことを目標とする。

【授業の注意点】

実習時は白衣着用で身なりなどを整える。支給されている包帯などを携帯する。実技では事故に注意して行うが、体調（皮膚状況）などが悪い時は事前に申し出る事。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	反復性肩関節脱臼についてよく理解し、説明することができる。	反復性肩関節脱臼についてよく理解している。	反復性肩関節脱臼について理解している。	反復性肩関節脱臼についてあまり理解していない。	反復性肩関節脱臼について全く理解していない。
到達目標 B	前腕両骨後方脱臼についてよく理解し、説明することができる。	前腕両骨後方脱臼についてよく理解している。	前腕両骨後方脱臼について理解している。	前腕両骨後方脱臼についてあまり理解していない。	前腕両骨後方脱臼について全く理解していない。
到達目標 C	肘内障についてよく理解し、説明することができる。	肘内障についてよく理解している。	肘内障について理解している。	肘内障についてあまり理解していない。	肘内障について全く理解していない。
到達目標 D	手関節部の脱臼についてよく理解し、説明することができる。	手関節部の脱臼についてよく理解している。	手関節部の脱臼について理解している。	手関節部の脱臼についてあまり理解していない。	手関節部の脱臼について全く理解していない。
到達目標 E	指の脱臼についてよく理解し、説明することができる。	指の脱臼についてよく理解している。	指の脱臼について理解している。	指の脱臼についてあまり理解していない。	指の脱臼について全く理解していない。

【教科書】

柔道整復学理論編（改定第6版）柔道整復学 実技編（改定第2版）

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

定期試験による評価

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		脱臼実技（上肢）			年度	2026	
英語表記		Dislocation practical skill (The arms)			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	反復性肩関節脱臼	反復性になる原因は何か？	1	バンカート損傷	バンカート損傷について理解している。	3	
			2	ヒルサックス損傷	ヒルサックス損傷について理解している。		
			3	肘関節脱臼分類	肘関節脱臼の分類について理解している。		
2	前腕両骨後方脱臼	前腕両骨後方脱臼はどのような状態になるのか。	1	発生機序	前腕両骨後方脱臼の発生機序について理解している。	3	
			2	症状	前腕両骨後方脱臼の症状について理解している。		
			3	合併症	前腕両骨後方脱臼の合併症について理解している。		
3	前腕両骨後方脱臼	前腕両骨後方脱臼の整復はどのように行うべきか。	1	整復法	前腕両骨後方脱臼の整復法ができる。	3	
			2	鑑別診断	前腕両骨後方脱臼と上腕骨顆上伸展型骨折との鑑別を理解している。		
			3	固定	前腕両骨後方脱臼の固定について理解している。		
4	前腕両骨前方脱臼	前腕両骨前方脱臼はどのような特徴があるのか。	1	発生機序	前腕両骨前方脱臼の発生機序を理解している。	3	
			2	症状、合併症	前腕両骨後方脱臼の症状と合併症について理解している。		
			3	前腕両骨側方脱臼	前腕両骨側方脱臼について理解している。		
5	橈骨頭脱臼	橈骨頭単独脱臼で注意すべきことは何か。	1	前腕両骨分散脱臼	前腕両骨分散脱臼について理解している。	3	
			2	橈骨頭脱臼	橈骨頭脱臼の特徴について理解している。		
			3	合併症	橈骨頭脱臼の神経損傷について理解している。		
6	肘内障	肘内障は小児で発生するのか。	1	発生機序	肘内障の発生について理解している。	3	
			2	症状	肘内障の症状について理解している。		
			3	整復法	肘内障の整復法・整復確認について理解している。		
7	遠位橈尺関節脱臼	遠位橈尺関節とcolles骨折の違いは何か。	1	背側脱臼	遠位橈尺関節背側脱臼について理解している。	3	
			2	掌側脱臼	遠位橈尺関節掌側脱臼について理解している。		
			3	橈骨手根関節脱臼	橈骨手根関節脱臼について理解している。		
8	振り返り	前半を振り返る	1	反復性肩関節脱臼	肩関節脱臼について説明ができる。	3	
			2	前腕両骨後方脱臼	肘関節脱臼について説明ができる。		
			3	肘内障	肘内障について説明ができる。		
9	月状骨脱臼	月状骨脱臼と月状骨周囲脱臼の発生について考える。	1	サファアの発生機序	サファアの発生機序を理解している。	3	
			2	症状	月状骨脱臼について理解している。		
			3	整復法	月状骨脱臼の整復法を理解している。		
10	月状骨周囲脱臼	月状骨周囲脱臼とは何か。	1	発生機序	月状骨周囲脱臼の発生機序について理解している。	3	
			2	症状	月状骨周囲脱臼の症状を理解している。		
			3	整復法	月状骨周囲脱臼の整復法を理解している。		
11	CM関節脱臼	CM関節脱臼の発生する理由は何か。	1	発生機序	CM関節脱臼の発生機序について理解している。	3	
			2	症状	CM関節脱臼の症状を理解している。		
			3	整復法	CM関節脱臼の整復法を理解している。		
12	第1MP関節脱臼	第1MP関節脱臼の分類とそれぞれの特徴は何か。	1	背側脱臼の分類	第1MP関節脱臼の分類を理解している。	3	
			2	発生機序	第1MP関節脱臼の発生機序を理解している。		
			3	整復法	第1MP関節脱臼の整復における注意点を理解している。		
13	その他のMP関節脱臼	MP関節脱臼で注意することは何か。	1	分類と発生機序	MP関節脱臼の分類と転位について理解している。	3	
			2	症状	MP関節脱臼の症状を理解している。		
			3	整復法	MP関節脱臼の整復における注意点を理解している。		
14	振り返り	後半を振り返る	1	肩関節脱臼	肩関節脱臼について説明ができる。	3	
			2	肘関節脱臼	肘関節部の脱臼について説明ができる。		
			3	手指部の脱臼	手指部の脱臼について説明ができる。		
15	PIP関節脱臼	PIP関節脱臼が発生しやすい理由は何か。	1	指の解剖	指の解剖を理解している。	3	
			2	背側脱臼	PIP関節背側脱臼を理解している。		
			3	掌側脱臼	PIP関節掌側脱臼を理解している。		

評価方法：1. 小テスト、59. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等